毎月５日は連合の日！

RENGO しまね
中部地協 なかま

第19号 | 発行日 2026 年 11 月 5 日

働く人の味方

連合島根中部地域協議会
〒693-0002
出雲市今市町北本町1－1－3 セントラルビル4F

発行人	編集責任者
神田 真哉	鳥目 純子

平和行動特集号

～結成以来の想いをつなぐ、地球規模での“絆づくり

連合は、**１９８９年の連合結成以来**、平和運動に積極的に取り組み、世論を巻き起こし、地球規模での“絆づくり”を進めることで、**平和で安定した社会・暮らしの実現**をめざしています。





広島集会で献納する千羽鶴を折る組合員とその家族のようす(メーデー・幹事会)

沖縄 6月23～25日　今岡 一也(中部)
広島 8月5・6日　河原 良太（出雲）伊藤 陸（雲南）泉 健次（大田）森山 烈（青女）
長崎 8月8・9日　神田 真哉（中部）
根室 6月23～25日　澁谷 崇裕（中部）

現地で見て聞いて考えた7人の声から、平和を自分のこととして考える。

沖縄　平和を「自分ごと」に　今岡 一也(中部地協副議長)





初めて参加した平和行動。正直、最初は旅行気分でした。けれど現地を巡り、普通の暮らしや希望を持っていた多くの人がこの場所で命を失ったことを思うと、胸が締め付けられました。沖縄にいる間、平和について考え続ける大切さを感じました。

広島　語り継ぐ責任を、次の世代へ　河原良太(出雲地区副議長)

被爆から 81 年。語り部の方々が伝えてきた戦争の恐ろしさを、今度は私たちが後世へつなぐ番です。今も残る被爆の爪痕を前に、体験談を聴ける貴重さを実感しました。核兵器は国を守るものではなく、命と暮らしを脅かすものだと改めて感じました。「今度は私たちが、後世へつなぐ番。」



広島　あの日とは違うまなざしで　伊藤 陸(雲南地区幹事・青女雲南委員長)



小学校の修学旅行以来、久しぶりに平和公園と平和記念資料館を訪れました。当時とは違う感情で展示を見つめ、集会では被爆体験証言や高校生平和大使の活動報告など、貴重な話を聞くことができました。平和への関心を絶やさずにいたいです。

広島　平和を守る思いを、未来へ　泉 健次(大田地区幹事)

平和への思いが静かに、そして力強く胸に刻まれる時間でした。被爆の実相を語り継ぐ人々の言葉、折り鶴に込められた願い、会場に集まった仲間の姿から、平和を守り続けることの重みを改めて感じました。
「過去を忘れず、未来へつなぐ。」



広島　学びも、出会いも。次は一緒に！　森山 烈(中部青女委員長)



青年女性委員長として初めての広島。原爆ドームや平和記念資料館を訪れ、見て・聞いて・感じることで、平和を考える貴重な時間になりました。県内各地の仲間と出会い、つながれることも平和行動の魅力です。
「「ちょっと行ってみたい！」で大歓迎。」

長崎　「最後の被爆地」にするために　神田 真哉(中部地協議長)



長崎資料館で案内人の方から説明を受け、写真や展示品を見て、日々何不自由なく暮らせることへの感謝と、原爆や戦争で犠牲になられた方々への追悼の思いを新たにしました。貴重な学びを忘れることなく伝えていきたいです。「長崎を、最後の被爆地に。」



根室　領土問題を自分たちの声で伝える　澁谷 崇裕（中部地協副議長）

ノサップ集会の会場となった納沙布岬からは、北方領土が驚くほど近くに見えました。この距離にある島々が占拠されていることに、改めて問題の重さを感じました。連合島根も「竹島領土権確立」に向けて取り組んでおり、同じ課題を抱える地域として声を上げていきたいです。「同じ課題を抱える地域として、声を。」



戦争の記憶の継承／在日米軍基地の整理・縮小と日米地位協定の抜本的見直し／
核兵器廃絶と被爆者支援／北方領土返還と日ロ平和条約の締結／
竹島学習の推進と返還運動の強化

関係団体や連合島根と連携し、学習・発信・対話を重ねながら、平和課題の着実な前進をめざします。

平和は、誰か任せではなく、私たち一人ひとりの行動から。